

2019年3月期 第1四半期決算 補足説明資料

感性AIで未来を創る会社

株式会社ソケット

証券コード3634

<http://www.sockets.co.jp/>

2018/8/10

- ✓ 売上・利益とも、ほぼ期初計画通りにて進捗
- ✓ 通信会社向け開発・運用収入が減少する（約4,700万円）一方で新規ライセンス事業が前期比増加（約2,600万円）、全社では減収減益
- ✓ 研究開発費およびデータ開発費を売上の25%にて実行中
前期比、約2,000万円の投資増加で、感性AI関連投資をさらに積極化
- ✓ データライセンス収入モデルの比率が全社売上のうち初めて50%を超える
金額ベースでも2期前の1.6倍、前期比15%成長

- ✓ 第1四半期、ほぼ期初予算通りの着地
- ✓ 前期比、開発・運用系売上が大きく減収
- ✓ 一方で、新規ライセンス事業が引き続き伸長

(単位：百万円)

	前第1四半期 (参考)	当第1四半期	要因
売上高	355	329	◇データ・ライセンス売上 前年比115% ◇開発・運用系売上 前年比78%
原価	229	220	◇データ開発投資増加に伴う原価率増加
粗利益	125	109	
粗利率	35%	33%	◇データ開発投資増加に伴う粗利率減少
販売管理費	130	149	◇研究開発費、大きく増加
営業利益	▲4	▲39	◇R&D,データ開発含む費用先行による減収

前期比較

(単位：百万円)

	当期	前期（ご参考）
売上	329	355

マイナス要因	プラス要因
主に通信会社向け開発・運用系およそ4,700万円減少	新規データライセンス開始により およそライセンス収入2,600万円増加 (yahoo、アイスタイル、ソウゾウ、J:COMなど)

- ✓ 通信会社向け開発・運用収入が前期比大きく減収
- ✓ 一方で新規のデータライセンスが引き続き増加
- ✓ ただし開発・運用収入の減少幅が大きく全社的には減収となる

2019年3月期 第1四半期決算 -ライセンス収入の増加

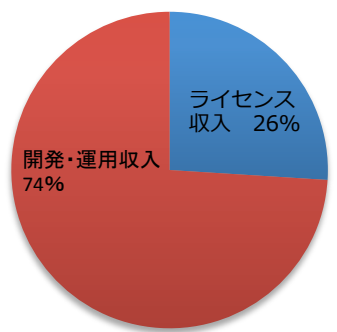
- ✓ ライセンス収入主体の事業モデルへさらに加速
- ✓ ライセンス事業が初めて全社売上の50%を超える
- ✓ 金額ベースでも対前年15%成長、2年前の1.6倍超の規模へ

データライセンス売上比率

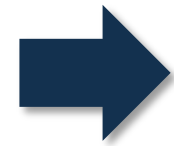
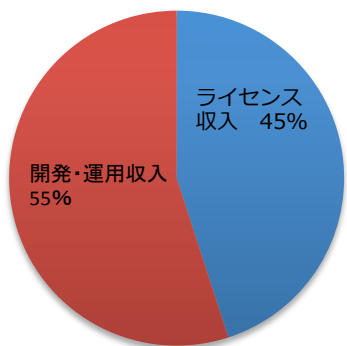
ライセンス収入

開発・運用収入

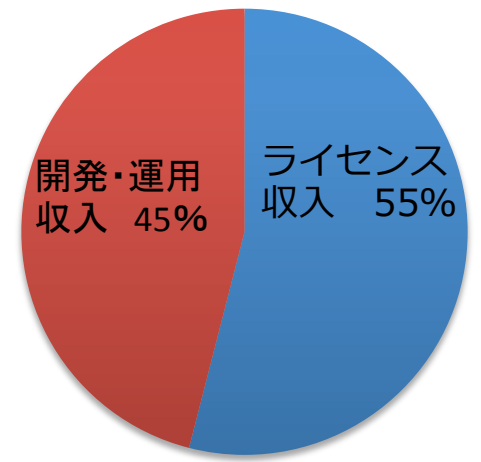
2017年3月期第1四半期



2018年3月期第1四半期



2019年3月期第1四半期



✓ 研究開発・データ関連投資※を、計画通り売上の25%にて実行中

※研究開発費は販売管理費、データ開発投資は原価に計上

✓ 前期比1.2倍に投資を積み増し 基礎的な研究開発からより実戦的な応用開発へ

	当期	前期
R&D・データ開発投資	8,200万円	6,700万円
対売上比率	25%	19%

主な投資対象

【専門AI】

- ・汎用AIとAPI連携を実現する特化型AI
- ・感情/感性理解型Chat bot

【感性AI】

- ・感情意味空間のマッピングなど感性AI

【アナリティクスプラットフォーム】

- ・音楽/映像分野のマーケティング支援/アナリティクスプラットフォーム

【データ開発】

- ・上記に関わるオリジナルメタデータ開発

2019年3月期 第1四半期決算 -営業キャッシュフローの増加

- ✓ 営業キャッシュフロー増加
- ✓ 先行投資（R&D、データ開発投資）を借入で行う状況からキャッシュフローで行う状況へ

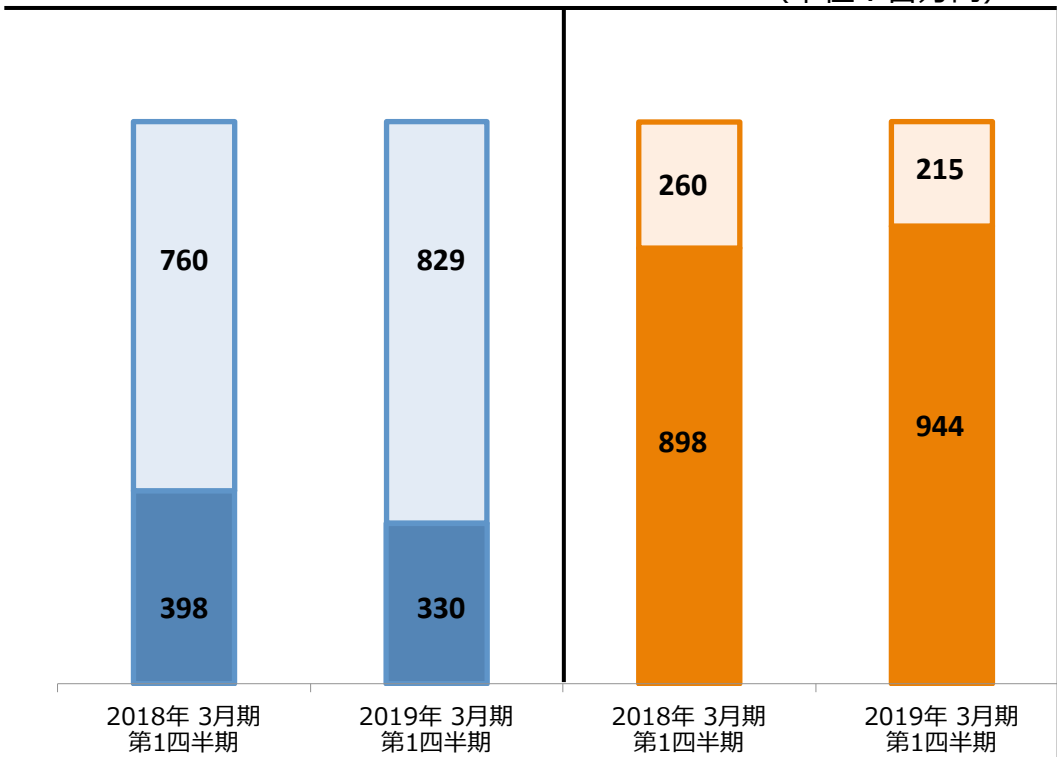


2019年3月期 第1四半期決算 -BS（貸借対照表）について

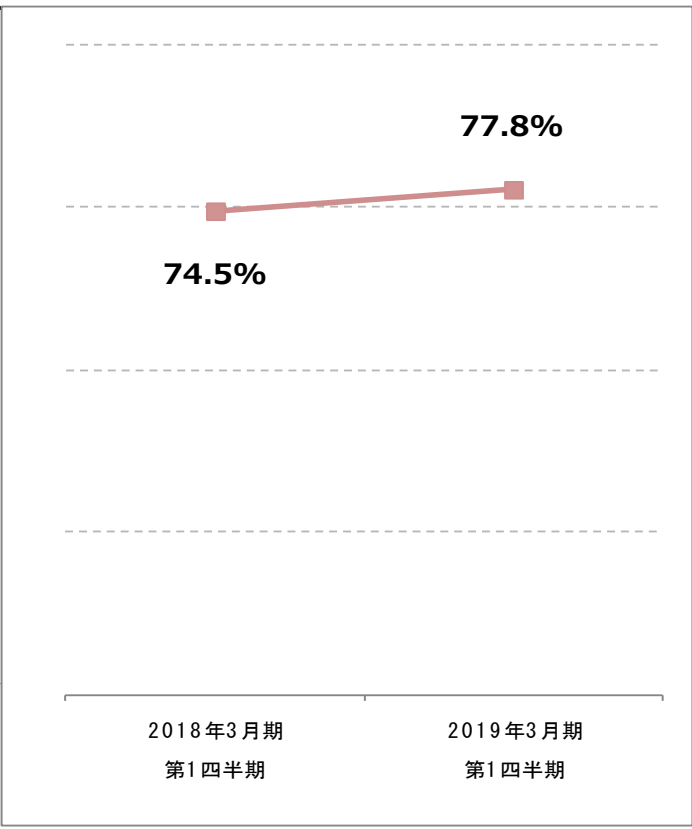
- ✓ 無借金、自己資本比率77.8%
- ✓ 財務基盤強化続く 投資戦略の選択肢広がる

BS推移

(単位：百万円)



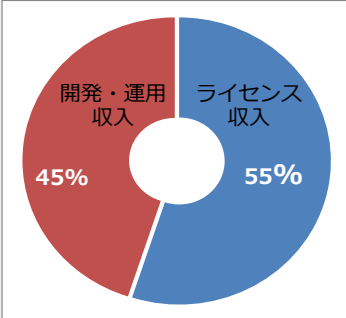
自己資本比率推移



■ 固定資産 ■ 流動資産 ■ 純資産 ■ 負債

✓ 期初業績予想に変更なし

(単位:百万円)

	2019年3月期 業績予想
売上高	1,600
営業利益	50
経常利益	48
ライセンス 売上比率	 <p>開発・運用 収入 45%</p> <p>ライセンス 収入 55%</p>
投資額	対売上25% 目処に実行



開発収入型からライセンス収入型へ
ビジネスモデルシフトより進む



自社プロパティ・ライセンスによる
収益性向上もさらに投資拡大へ



売上の50%以上をライセンス収入
で占めるライセンスビジネス企業へ



来期の大きな成長に向けた
R&D/データ関連の積極投資拡大

オープン化

自社プロパティのオープン化
データ利活用先を一気に拡大計画

3Q
開始予定

プロダクト化

オープン化によるビジネスモデルの多様化
を実現するプロダクト展開

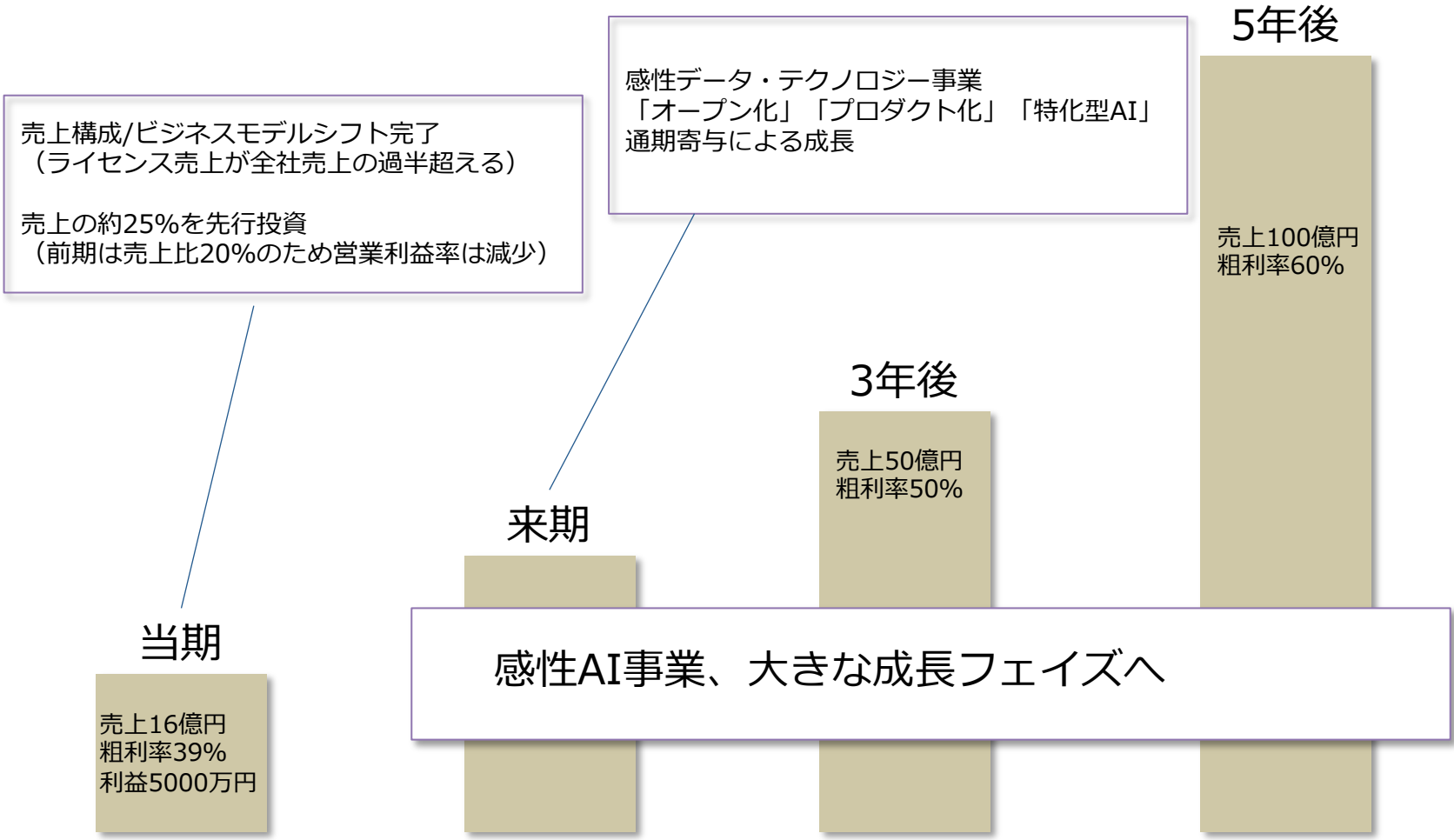
3Q
開始予定

特化型AI

用途を特化した専門的なエージェント開発

10月
β版
予定

✓ 今期の位置づけ：来期の大きな成長に向けたラストイヤー



感性AI (=人の感情・感性を理解するテクノロジー) で QOL(Quality of LIFE)提案企業へ

レコメンド
パーソナライズ
専門検索

音楽・映像系にて広がり
一般商材部門においても
感情・感性分析/サービスを
コアに拡張

15億円

データ提供
各種分析サービス
ツールライセンス

音楽・映像系で独自地位
一般商材部門において
プロダクト化・オープン化
感性分析サービス・
ライセンスで成長

15億円

特化型AI
サービス

エンターテイメント系の
専門的AIから多様な分野の
AI開発

家庭用IoTはじめ自動車まで
様々なエージェントと連携

20億円

ライフスタイル
提案サービス
(広告関連)

専門性/センスを会話ベース
でコミュニケーション可能
な感性AI活用。Quality of
LIFEを実現するクロス・
エクスペリエンス型の
新しい広告関連ビジネス
開発・提供

50億円

クリエイティブ
サービス

レーベル事業
映画制作
ドラマ制作
イベント事業
マネージメント事業

などQOLクリエイティブ

α億円

売上100億円- / 営業利益25-30億円-

本資料における予想数値等は、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります

【お問い合わせ先】

株式会社ソケット

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目23番5号

窓口：コーポレート本部IR担当

Tel : 03-5785-5518 Fax : 03-5785-5517

E-mail : ir@sockets.co.jp